

Korean Summer Session 体験レポート

看護学部 2回生 松田 夏実

私の人生において、初めての海外がここ釜山でのこのプログラムでした。初海外で、2週間という長期滞在で不安だらけでしたが、終わってみるとかけがえのない友情と貴重な経験ができ、自分自身が人間としてとても成長できた2週間でした。今回は、私が初めて訪れた国で五感を通して感じたこと、学んだことをプログラム内容とともに振り返り紹介したいと思います。

・Day1(入国日、プログラム前日)

大阪から釜山までの直線距離はおよそ 600 キロメートル、大阪から北海道へ行くよりも近く、福島県へ行く距離とほぼ変わらないほど近い都市です。フライト時間にして約1時間30分もかからず到着できるため、日本人の旅行客もすごく多かったです。時差もなく気温もさほど変わりませんが、到着したとたん聞こえる言語、目に入る看板の文字、街並みの景色、現地の人が作り出す雰囲気が「異国の地に来たのだ」と感じさせてくれる不思議な感覚を味わいました。空港では韓国人スタッフの方々が丁寧に迎えてくださり、日本語もものすごく上手なので一気に不安がなくなりました。例年、県大からは数名での参加でしたが今年は1名での参加だったため寮の相部屋は韓国人スタッフの方と一緒にしました。韓国語があまり話せないため仲良くなれるか心配でしたが、そんな心配は無用なほど日本語が堪能でとても親しくしてくれるのですごく仲良くなることができました。

・Day2 (オリエンテーション、歓迎会、シティツアー)

KSS 全体での開会式があり、参加学生と韓国人スタッフの方との最初の顔合わせの機会でした。本当に、九州から北海道まで日本全国から学生が参加しており韓国語よりも日本各地の方言を覚えて帰国したと思います。ひと班に日本人学生 10 名程度、韓国人スタッフ 4 名と少人数ながら本当に私たち日本人学生をお世話してくださいました。午後からのシティツアーでは、ノレバン (カラオケ) に行ったりカカオショップに行ったり釜山タワーに連れていってもらったり様々な観光名所に連れていってくれました。夜ご飯はサムギョプサルを食べました。日本の焼肉みたいな感じですが一人 (10000₩=約 1000 円) で食べ放題という、破格の安さでとってもおいしかったです。韓国人スタッフの方々の素敵なプログラム構成のおかげで、班のみんなとも早く打ち解けることができました。

釜山タワー➡



・Day3 (韓国語講座、サムノリ体験、自由時間)

今年は 2 つのクラスに分けられました。授業は全部韓国語で行われ、初めは何を言っているのかわかりませんでしたが先生がジェスチャーやわかりやすい単語に言い換えて説明してくださるので大まかな意味をとらえることができ、聞き取る力が向上したように思います。3時間も授業が行われますが、みんなとゲームも交えながら行われとても楽しい授業なのであつという間に過ぎてしまいます。午後はサムノリという韓国の太鼓の伝統芸を体験してもらいました。サムノリは 4 つの楽器 (チン、プク、チャング、ケンガリ) を使って演奏し、それぞれの楽器には風 (チン)、雲 (プク)、雨 (チャング) 雷 (ケンガリ) が表現されており、4 つの楽器が奏でる楽曲は天地・宇宙を表現する農楽です。最後はみんなで発表会も行い、韓国の伝統芸能の奥深さを学び、次世代に引き継ぐことの大切さを感じました。夜は韓国料理で有名な冷麺を食べ、「ナンポドン」というショッピング街で班のみんなと買い物しました。その後も学校に戻ってマフィアゲーム (日本の人狼ゲーム) を楽しみ、毎日夜の 12 時まで遊びまわりました。すごく充実していますが、体はクタクタでした！



↑サムノリ体験



↑チジミ、プルコギ作り体験

・Day4 (韓国講座、プルコギ・チジミづくり、自由時間)

午前中の授業の後、韓国料理のプルコギとチジミ作りの体験をしました。とっても簡単に作れるので日本に帰国してからも作りたいと思います。夜は、甘川 (カンチョン) 文化村というインスタ映えで有名な観光名所に行きました。釜山のマチュピチュとも呼ばれるとても綺麗な眺めが昼夜問わず楽しめます。観光地としてこの集落を作ったのではなく、もともと朝鮮戦争の際に北朝鮮側から戦争を逃れるために逃げてきた避難民たちが住居を求めて集落を作ったことが始まりとされているそうです。単に、観光名所として訪れるだけでなく、きちんと歴史やその背景を学べて良かったです。

・Day5 (韓国語講座、シティツアー)

韓国語講座の後、西面(ソミョン)という南浦洞(ナンポドン)と並ぶ繁華街に行きました。オシャレなカフェに行ったり広安里ビーチに行ったりしました。夜は、夜景がきれいなところに連れてってもらいました。たくさんバスや地下鉄で移動しましたが韓国の交通料金は本当に安いので、坂が多い場所などでは公共交通機関の利用をお勧めします。

・Day6～Day7 (韓国語講座、慶州ツアー)

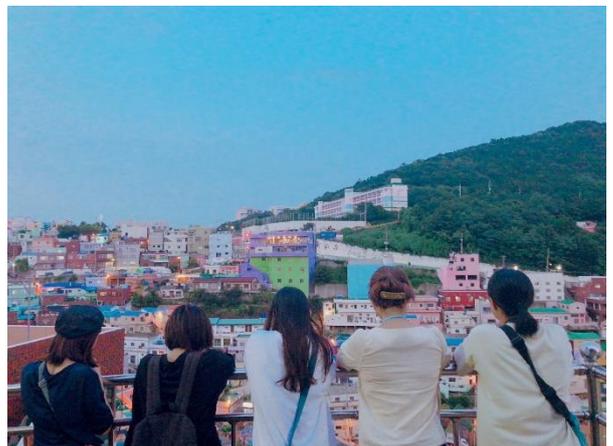
このプログラムも折り返し地点に差しかけたところで、東亜大学校からバスで1時間30分ほどのところにある慶州という日本でいう京都のような歴史建造物が多くある都市に1泊2日のツアーに行きました。お寺は日本とすごく似ていましたが提灯がたくさん飾られている等、韓国のほうが少し華やかなイメージがありました。夜はレクリエーションで班のみんなとダンスを踊ったりゲームをしたりして、他の班と競ったりしました。すごく盛り上がりこの日は明け方までお酒を飲みながらゲームをし、みんなと友好を深めました。私自身、これまで人の誘いにもあまり乗らず引込み思案なところがありましたが、韓国人スタッフの方々の優しい配慮や熱い人柄のおかげで、大学生らしいことを経験し、友人と一緒にいることの心地よさ、楽しさを知ることができました。

・Day7 (自由時間)

この日は一日、自由時間でした。同じ班のメンバーの子たちとナンポドンに買い物に行きました。韓国人のスタッフの方がいなくても道がわかるようになっている自分たちに驚きました。お店に入ると日本語で丁寧に接客してくださり、日本語能力の高さにびっくりすると同時にどうして話していないのに、日本人と区別がつくのだろうと疑問に感じました。夜はKSS全員で綺麗な噴水のショーを見に行きました。音楽と一体化して動くカラフルな噴水のショーは本当にきれいでした。ショーの後は噴水の中で水遊びもできてびしょ濡れになりましたが、良い夏の思い出となりました。

・Day8 (韓国講座、K-ポップダンス、プレゼン準備&自由時間)

韓国講座の後は、ダンススタジオに移動しダンスの先生から本格的なダンスを習いました。「BTSのMIC Drop」と「TWICEのDance The Night Away」の二つの楽曲に分かれて練習しました。私はTWICEのダンスを習いましたがダンスが不得意な私にはかなり難しかったです。短時間の練習にしてはかなり完成度の高いものになったと思います。分からないところを教えあうことで、今まであまり関わりのなかった他の班の子たちとも話すことができ友好関係を広げることができました。夜は、キムパ(海苔巻き)を食べながら最終日で発表するプレゼンを考えました。私たちの班は韓国と日本の共通点と違いを「衣食住」に焦点をあてて考える



ことにしました。

・Day9 (韓国語講座、文化体験、自由時間)

韓国講座も終盤に差し掛かり、話せる言葉が日に日に増えていきました。その日に習った会話文は班行動の時に韓国人スタッフの方々に話すなど実際に使うことで、より定着していったと思います。午後からの文化体験では韓国の伝統的な箱の入れ物を作りました。図画工作は小学生以来だったので、久しぶりに熱中して作りました。自由時間は班のみならず韓国人スタッフの方へのサプライズプレゼントを選んだり、韓国料理の代表ともいえるサムゲタンを食べたりしました。韓国料理と聞くと、辛いもので溢れているイメージがあると思いますが意外と現地人でも辛い物が苦手な人は多く、辛い食べ物もたくさんありました。

・Day10 (シティツアー)

この日は韓国では光復節（独立記念日）で祝日にあたる日で韓国語の授業はお休みで、朝から海雲台（ヘウンデ）という海が有名な都市に連れていってもらいました。海の色が日本とは違って少し緑色の強い青々とした海でした。とても暑い日でしたが海風が強くて海岸周辺は涼しくて海の香りが強く、夏を感じました。午後からは、ヘウンデ周辺のロッテモール等に行き買い物を楽しみました。巨大なソルビン（かき氷）を2人で分け合って食べ、トッポギも食べました。韓国には、安くてアメリカ並みのビッグサイズの食べ物が多いです。



↑海雲台



↑伝統工芸品



←プレゼンテーション

大成功！！

・Day11（韓国語講座、プレゼンテーション準備&自由時間）

韓国語講座の後はプレゼンテーションの準備をしました。韓国人スタッフの方もプレゼンを一生懸命作ってくださり、私たちも韓国語と日本語の両方で発表できるよう準備を進めました。日本ではプレゼンと聞くと少し堅苦しい感じがしますが、韓国でのプレゼンはわかりやすく、面白く、をコンセプトにみんなで和気あいあいと準備をして、とても楽しかったです。夜はチョッパルという韓国料理を食べました。日本では豚の足という意味らしいです。みんな、明日で最後なのが信じられず寮に帰らず、いつまでも班のメンバーといたいと思うほど仲良くなりました。

・Day12（韓国語講座、修了式、自由時間）

韓国語講座の最終日はこれまでのテストを行い、もう一つのクラスの子たちとも合同でゲームを楽しみ終わりました。短い期間でしたが、韓国語の能力も向上しもっと勉強したいと思いました。日本に帰国してからも韓国語の勉強を続けたいと思います。修了式では、プレゼンを無事に終えました。最後は一人ずつ修了証を受け取り、これまでをビデオで振り返り感想を言って KSS の幕を閉じました。みんなとの別れが辛くて、日本人学生も韓国人スタッフの方々も号泣でした。そんな、韓国最後の夕食はサムギョプサル&マッコリでした。

本当においしい食べ物、優しい人たちに囲まれて幸せな2週間でした。

・このプログラムを通して感じたこと

昔から韓国は近くて、遠い国と表現されることが多いと思いますがその距離を縮めるためには、まずお互いのことを知り理解することが必要だと思います。韓国の人たちはとても優しくて親しくしてくれる人が多いです。また、このプログラムを通して韓国人スタッフの方々だけでなく日本全国に友達ができました。プログラムが終わってからも連絡を取り合っています。本当に「人との出会い」という一生の宝物を得ることができました。また、自分自身、初海外でお酒もあまり飲めず、辛い物も食べることができず、人見知りが強い私でしたがこのプログラムで少し克服することができ人間としても成長することができたと思います。これからも、人と人とのつながりを大切にし、ここで学んだことを生かして更に成長した自分になれるよう頑張っていきたいと思います。



